

船舶事故調査報告書

平成29年12月6日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 佐藤 雄二（部会長）

委員 田村 兼吉

委員 岡本 満喜子

事故種類	衝突（防波堤）
発生日時	平成29年1月3日 05時15分ごろ
発生場所	京浜港横浜第2区の外防波堤 横浜外防波堤南灯台から真方位205°130m付近 （概位 北緯35°27.1′ 東経139°40.4′）
事故の概要	遊漁船 ^{オーシャンマスター} Ocean master IIIは、南東進中、防波堤に衝突した。 Ocean master IIIは、船長及び釣り客4人が負傷し、船首部に破損を生じた。
事故調査の経過	平成29年1月4日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	遊漁船 Ocean master III、1.7トン 235-47581 神奈川、個人所有 5.84m (Lr) × 2.48m × 1.09m、FRP ガソリン機関、110.3kW、平成19年9月
乗組員等に関する情報	船長 男性 40歳 二級小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成27年3月26日 免許証交付日 平成27年10月19日 （平成32年3月25日まで有効）
死傷者等	重傷 1人（船長）、軽傷 4人（釣り客）
損傷	本船 船首部に破損 防波堤 なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 なし、視界 良好 海象：海上 平穏 日出時刻：06時51分ごろ
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、釣り客4人を乗せ、平成29年1月3日05時00分ごろ京浜港横浜第1区の係留場所を出発し、低速で航行した後、神奈川県横浜市瑞穂ふ頭北西端の突堤西方付近に差し掛かった頃横浜ベイブリッジ橋梁灯（L2灯）と横浜市本牧ふ頭A突堤先端部との中間付近を船首目標とし、徐々に増速して南東進した。

	<p>船長は、操舵スタンド後方の椅子に腰を掛け、左手で舵輪を、右手で機関操縦レバーをそれぞれ持ち、手動操舵により航行した。</p> <p>本船は、船長が、椅子に腰を掛けた姿勢で操船を続けるうち、いつしか居眠りに陥り、05時15分ごろ外防波堤に衝突した。</p> <p>船長は、意識がなく、釣り客の1人が110番通報した。</p> <p>船長及び釣り客4人は、救急車で病院に搬送され、船長が顔面頬骨骨折、左手首骨折等、釣り客4人が頸椎捻挫、打撲等とそれぞれ診断された。</p> <p>本船は、通報を受けて来援した地元警察署の警備艇職員が移乗し、横浜市大黒ふ頭の岸壁に着岸した。</p> <p>(付図1 事故発生経過概略図 参照)</p>
その他の事項	<p>船長は、ふだん、夜間に出航する際は、横浜ベイブリッジ橋梁灯(L2灯)と本牧ふ頭A突堤先端部との中間付近を船首目標として航行し、横浜ベイブリッジ下を通過する頃右転して外防波堤の南側水域を航行していた。</p> <p>船長は、本事故発生の数日前からよく眠れず睡眠不足の状態であったことにより居眠りしたものと本事故後に思った。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、京浜港横浜区を南東進中、船長が、居眠りに陥ったことから、予定の変針場所を通過し、外防波堤に衝突したものと考えられる。</p> <p>船長は、本事故発生の数日前からよく眠れず睡眠不足の状態であったことから、居眠りに陥った可能性があると考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、本船が、京浜港横浜区を南東進中、船長が、居眠りに陥ったため、予定の変針場所を通過し、外防波堤に衝突したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠不足の状態では操船しないことが望ましい。 ・操船中に眠気を催した際には、座らず体を動かすなどして居眠り防止に努めること。

付図1 事故発生経過概略図

